

雑司ヶ谷の案内サインのあり方に関する提言書

令和3年7月28日  
雑司が谷未来遺産推進協議会

## 1. はじめに

豊島区におかれましては、日頃から雑司ヶ谷未来遺産推進協議会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

ご存じのように、雑司ヶ谷地域は、平成 26 年 12 月、日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に登録され、平成 27 年 7 月には雑司ヶ谷地域に関連の深い団体等が連携をしながら 100 年後の子どもたちに向けて、地域の文化・自然遺産を伝えるための活動をしていくために「雑司ヶ谷未来遺産協議会」を設立し、豊島区と協働でまちづくりに取り組んでまいりました。

雑司ヶ谷の案内サインに関しては、「雑司ヶ谷地域に観光客が生活道路に入ってきて困ることがある」という地域の声から、①雑司ヶ谷の建築未来遺産について(2016 年度)、②建築未来遺産をつなぐ道について(2017 年度)、③地域外から雑司ヶ谷地域を訪れてくる方と地域住民とが共生できる道の課題や課題の検討について(2018 年度)、④案内ルートや案内板の現状について(2019 年度)、⑤案内ルートや案内サインの基本的考え方について、と段階的にシンポジウムやワークショップを重ねてまいりました。そしてこの度、これまでの話し合いの結果を踏まえて、地域への皆様からいただいた意見を反映した『雑司ヶ谷の案内サインのあり方に関する提言書』がまとまりましたので、本書のとおり提言いたします。

豊島区におかれましては、この提言書の主旨をご賢察いただくとともに、雑司ヶ谷地域に適した案内サイン計画を進めてくださいますよう、お願い申し上げます。

※雑司ヶ谷未来遺産協議会が取り組むエリアは、住居表示上の「雑司ヶ谷」に限定せず、かつて「雑司ヶ谷」と呼ばれていた、現在の南池袋や西池袋の一部も含みます。

※本取組は、雑司ヶ谷未来遺産協議会と日本女子大学 家政学部 住居学科 薬袋研究室と協働で取り組んでいます。

令和 3 年 7 月 28 日

雑司ヶ谷未来遺産推進協議会

## 2. 案内サインの現状

雑司ヶ谷全体の道案内や案内サインの現状は、以下のとおりです。

既存の案内サインは、表記やデザインが統一されておらずわかりにくい。

公共の施設については、施設の近くまでいかないとな案内が設置されていないことがある。  
例)雑司ヶ谷旧宣教師館、雑司ヶ谷霊園など

公共の案内サインは、主に幹線道路に設置されている。

東京メトロ雑司ヶ谷駅、都電荒川線都電雑司ヶ谷停留場、鬼子母神前停留場、JR 目白駅各駅から訪問者(観光客含)への案内サインが全体的に不足している。



公共の案内サイン



雑司ヶ谷霊園の案内



自由学園明日館が設置した電柱広告による案内



弦巻通り商店会の案内(通り内)

### 3. 雑司ヶ谷の案内サイン検討会について

2019年度は、生活道路とは別に、地域外から訪れてきた人のための案内ルート「雑司ヶ谷の歴史をたどる道」の案を検討しました。2020年度は、その道を中心とした案内サインの検討を進めるため、案内サイン検討会を実施しました。概要は以下のとおりです。

※「雑司ヶ谷」は、住居表示上の「雑司ヶ谷」と呼ばれていた現在の南池袋や西池袋の一部も含まれます。

#### 《第1回》

日時：2020年11月10日(火)

Part1)10:00~12:00(主に明治通り西側エリア)

Part2)14:00~16:00(主に都電西側エリア)

Part3)18:00~20:00(主に都電東側エリア)

会 場：雑司が谷地域文化創造館 第2・3会議室

参加者：69名



第1回の様子

#### 《第2回》

日時：2020年12月8日(火)／18:00~20:00

会 場：雑司が谷地域文化創造館第2・3会議室+オンライン

参加者：36名



第2回の様子

## <第1回で出された主な意見>

- ① 歴史的で文化的建築物があり、かつ、住宅地である地域特性を活かしたサイン計画をしてほしい
  - ・案内サインは駅前など必要最低限に抑えてほしい。
  - ・住宅地には誘導サインや代替するサイン計画等で工夫する。
  
- ② 雑司ヶ谷地域全体を回遊しやすくなる案内の方法を検討し、また、地域特性を活かした統一したデザインにしてほしい
  - ・目白周辺と現在の雑司ヶ谷エリアを迷わずつなぎ、回遊できるようなサイン計画にする。
  - ・雑司ヶ谷地域内でも、地域特性を活かしたデザインに。かつ、統一をはかる。
  
- ③ 歴史的背景を踏まえ、正しい認識のもとに正式名称を記載する。
  - ・通称名ではなく、正式名称を記載してほしい。 例:ケヤキ並木⇒大門櫨並木、鬼子母神大門櫨並木
  
- ④ 設置スペースがない場合は、既存施設の設備を活用するなど工夫して、改良していく。
  - ・ベンチや壁に案内サイン(看板)を貼る。道路に舗装やシールなどを貼るなど工夫する。
  - ・町会や区の掲示板の上に誘導サインを設置するなど工夫する。
  
- ⑤ すぐに設置ができない場合は、豊島区と連携をはかりながら地域で試行的にできることから取り組む
  - ・まずは、道や壁にシール等を貼って検証するなど社会実験をしてみてもどうか。
  
- ⑥ 『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』をルートに  
案内ルートは、雑司ヶ谷の建築遺産や名所を繋ぐ『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』の案が良いが、新たに提案箇所も検討しながら、適宜、地域の現状にあった案内ルートへ更新していく。

## <第2回で出された主な意見>

- ⑦ 『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』
  - ・法明寺境内を通る墓地との間の道を新たに提案したい。但し、法明寺の意思確認が必要である。
  - ・池袋周辺で先行して検討している案内サインとの整合性を図る。(特に、南池袋公園隣の道(本立寺)など)
  
- ⑧ 豊島区、東京都と考え方を共有し連携をはかり、できることから取り組む。
  - ・豊島区『案内サインガイドライン』に基づいて設置する。
  - ・生活道路まで入り込まないための案内サインの設置のあり方を検討する。
  - ・都市計画道路(環5の1)や都電の駅(工事中)の動向も注視するため、第四建設事務所や都電とも連携をはかる。

## 4. 雑司ヶ谷の案内サインの提言

雑司ヶ谷の案内サインのあり方について、案内サイン検討会等でのまとめと地域からの意見を踏まえ(地域版パブリックコメントを実施 7月13日~26日)、以下のとおり提言します。

### <案内ルートの考え方・方針>

雑司ヶ谷地域を訪れてくる人が、雑司ヶ谷の生活圏に迷いこまないための案内のあり方を検討する。(検討会ご意見②から)

- …雑司ヶ谷地域を訪れてくる人たちが、地域住民が日常的に使う生活道路に迷いこんだり、住宅地に入らない案内のあり方を検討する。
- …高齢者や障害者をはじめ様々な人たちの案内を手助けする方法を検討する。(地域版パブコメから)

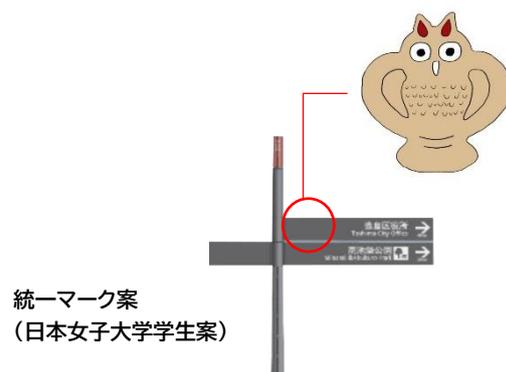
既存施設と連携をはかりながらも、『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』を案内ルートの基本とする。(検討会ご意見⑥、⑦、地域版パブコメから)

- …案内ルートは、雑司ヶ谷の建築遺産や名所を繋ぐ『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』を基本とするが、適宜、雑司ヶ谷地域の現状にあった案内ルートへ更新していく。
- …各駅と各施設までの案内ルートについては、施設所有者と連携をしながら、日ごろ施設が案内しているルートや既存の案内板等の設置箇所との整合性をはかりながら進める。(地域版パブコメから)

### <案内サインの考え方・方針>

『豊島区案内サインガイドライン(令和元年6月)』を基本としながら、地域特性を活かした雑司ヶ谷らしい案内サインを設置する。(検討会ご意見①②⑦⑧から)

- …木造密集市街地でスペースに限りがあるため、案内地図サインの設置箇所は必要最小限とし、駅前など主要箇所に設置する。
- …誘導サインは施設近隣の住宅地内に設置するなど、適材適所のサイン計画とする。
- …雑司ヶ谷地域は鬼子母神周辺、大門樺並木、雑司ヶ谷霊園周辺、弦巻通り、目白周辺などエリアごとに表情がさまざまであるため、区のガイドラインを基本に統一のとれたデザインにしながらも、エリアごとに“雑司ヶ谷らしさ”を出したデザインにする。その際、誰もわかるユニバーサルデザインの案内となるよう、工夫する。(例:ピクトグラム、イラスト、ロゴマークの活用、地域特性に応じたイメージカラーの設定など)
- ・目白周辺と現在の雑司ヶ谷エリアをつなぎ、たのしみながら回遊できるようなサイン計画にする。



施設名や通り名は、正式な名称を記載する。(検討会ご意見③、地域版パブコメから)

…言いやすさや新しさを簡単に名称を変えたりせず、雑司ヶ谷の歴史的背景を踏まえた正確な名称を案内サインには記載する。

…ケヤキ並木は、東京都の天然記念物指定(昭和 15 年)の正式名称である「鬼子母神大門櫨並木」、もしくは、文献(雑司が谷若葉集)から「大門櫨並木」と表記してほしい。(地域版パブコメから)

設置スペースがない場合は、既存施設の設備を活用するなど工夫したり、案内サインとは別の案内方法を検討する。(検討会ご意見④⑤から)

…案内サインが設置可能なスペースに限りがあるため、設置が難しい場合は別の案内のあり方を検討する。

…例えば、ベンチや壁に案内サイン(看板)を貼ったり、道路に舗装やシールなどを貼る。また、既存の町会や区の掲示板の上に誘導サインを設置するなど工夫する。

…フランスのディジョンのように道路上に金のフクロウを埋めるなどして道案内をする。(地域版パブコメから)

既存の案内サインを整理した上で、新たに案内サインを設置する。

(検討会ご意見①⑦、地域版パブコメから)

…新規に設置する案内サイン等については、既存の案内サインを把握、整理した上で、雑司ヶ谷地域の皆さんのほか、施設所有者と協議し連携をはかりながら、必要な箇所に設置する。

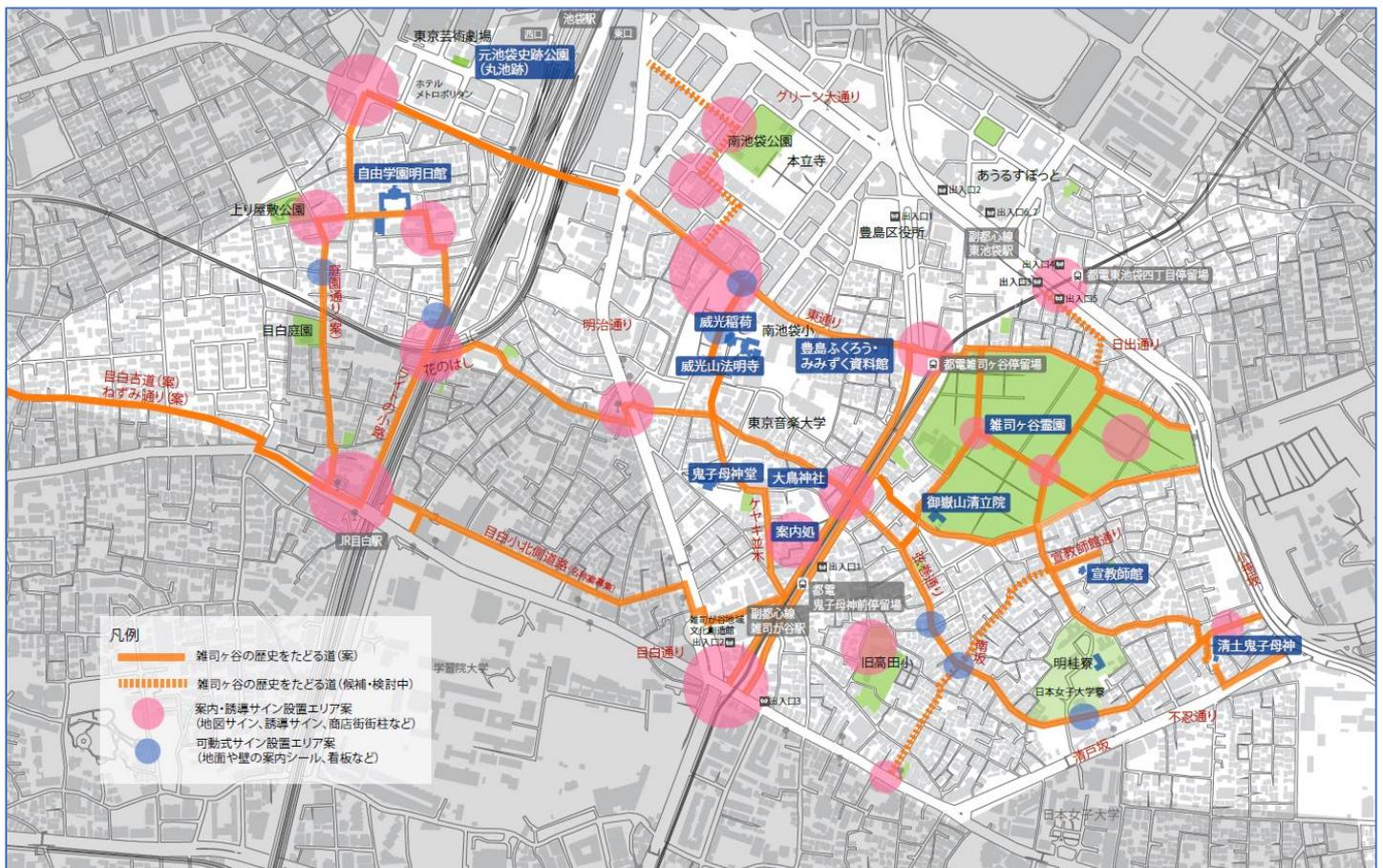
## <雑司ヶ谷の歴史をたどる道、及び、案内サイン設置箇所候補(案)>

これまでのワークショップや検討会等から出された候補地(案)です。今後、案内サイン等については、設置する意義や実際にスペースがあるか等、豊島区や施設所有者と協働で検証し、必要最小限の案内サインを設置していきたいと考えています。

なお、案内サイン設置の基本的考え方は以下のとおりです。

### ■案内サイン(案内地図サイン、誘導サイン)設置の基本的考え方■

- ① 各駅出入口は設置可能であれば、案内サインを設置したい。
- ② 幹線通りから地域内の小道に入る箇所で案内をするべき施設につながる箇所には、誘導サインを設置したい。
- ③ 地域内で迷いやすいところは誘導サインで方向を示したい。



## 5. 今後の進め方

今後は本提言を踏まえ、引き続き雑司が谷未来遺産推進協議会を中心に、各町会、各商店会、また、雑司ヶ谷地域に関わる地域活動団体と連携をとりながら、案内サインの計画を進められるよう、豊島区と協働で取り組むことをお願いいたします。

豊島区、東京都、施設所有者等の関係団体と協議し、協働で取り組む。

…施設所有者や施設管理者と連携をしながら、整合性をはかりながら進める。

(例: 東京都第四建設事務所、都電、雑司ヶ谷霊園、旧宣教師館など)

案内サイン(案内地図サイン、誘導サイン)の候補地の設置の実現性を検証する。

…設置箇所は、案内サインガイドライン担当の豊島区文化観光課と協働で実現の可能性を探る。

…設置箇所については、スペースと予算には限りがあることから、検証をした上で区と協議をして必要最小限に段階的に設置をする。

できることから試行的な取り組み等(社会実験)を実施し、可能な箇所から設置する。

…案内サイン(案内地図サイン、誘導サイン)の設置が難しい箇所は、別の案内のあり方を検討する(壁に案内サイン(看板)を貼ったり、道路に舗装やシールなどを貼るなど)が、地域でできることは雑司が谷未来遺産推進協議会を中心に地域主体で取り組む。

今年度は、豊島区をはじめ関係団体と連携をはかりながら、社会実験を実施する。

【社会実験候補箇所(現在調整中)】

- ・都電雑司ヶ谷停留場、鬼子母神前停留所
- ・雑司ヶ谷霊園内の案内板や通り
- ・弦巻通り出入口 など

「雑司ヶ谷の歴史をたどる道」はサイン設置後も実情に合わせて、随時見直す。

…案内ルート(『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』)は、適宜、雑司ヶ谷地域の実情にあった案内ルートになるよう、施設所有者と確認しながら、見直していく。

豊島区や雑司ヶ谷の関連ウェブサイトや雑司が谷未来遺産推進協議会のウェブサイトと連携をしていく。

…案内ルート(『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』)は、適宜、雑司ヶ谷地域の実情にあった案内ルートになるよう、施設所有者と確認しながら、見直していく。

## 6. これまでの経緯

平成27年7月に雑司が谷未来遺産推進協議会が設立されてから、案内サイン計画に関連する取組みは、以下の通りです。

日時	内容・テーマ	
2016年度) 日本女子大学 明佳寮見学会 12月17日(土)	シンポジウム前に、雑司が谷1丁目にある日本女子大学の両地区内にある明佳寮(1927年～現在休寮)の見学会を実施。	協議会委員 シンポジウムパネリスト 対象
第1回シンポジウム 12月17日(土)	雑司ヶ谷の建築遺産を生かしたまちづくり - パネルディスカッション	豊島区役所 としまセンタースクエア 延べ200名
2017年度) 自由学園明日館見学会 2018年2月12日(月・祝)	シンポジウム前に重要文化財(国指定)の自由学園明日館の見学会を実施	協議会委員 シンポジウムパネリスト 対象
第2回シンポジウム 2月12日(月・祝)	雑司ヶ谷の道でつなぐまちづくり - 雑司ヶ谷の建築遺産をつなぐ道のあり方についてパネルディスカッション	自由学園明日館講堂 延べ200名
2018年度) ワークショップ 第1回:11月8日(木) 第2回:11月27日(火)	- 雑司ヶ谷の道に関する研究発表について - 雑司ヶ谷の道の未来を考えるよう …観光と生活の道について、地域を分けてグループごとに意見交換	63名(2回合計)
第3回シンポジウム 2019年1月22日(火)	風情ある雑司ヶ谷における観光と生活の接点を考える - ワークショップの報告 - 観光客と地域住民とが共生できる道についてパネルディスカッション	自由学園明日館講堂 延べ200名
2019年度) ワークショップ 12月5日(木)	- 雑司ヶ谷地域の道案内の方法の現状把握 - 豊島区内の道の案内方法の考え方について - グループごとに意見交換	雑司が谷地域文化創造館 47名
第4回シンポジウム 2020年1月30日(木)	これからの雑司ヶ谷の道案内を考える - 基調講演「気持ちよく歩ける道案内のためのサインとその連携」 - - 案内ルートの実状 - パネルディスカッション	自由学園明日館講堂 延べ100名
2020年度) - 案内サイン検討会 - 第1回:11月10日(火) 第2回:12月8日(火) ※第2回は対面型とオンライン型 (Zoom)での実施	第1回 - エリアごとの道案内の現状把握 - 今後のあり方をグループごとに意見交換 第2回 - 案内サインのあり方説明 - 意見交換 - 今後のスケジュールの確認	雑司が谷地域文化創造館 第1回:69名 第2回:36名

## 7. 雑司が谷未来遺産推進協議会メンバー 一覧

2021年7月現在

	役職等	氏名
顧問	豊島区長	高野 之夫
顧問	法明寺 住職	近江 正典
顧問	自由学園 最高学部長	渡辺 憲司
顧問	豊島区観光協会 名誉会長	齊木 勝好
顧問	豊島区副区長	齊藤 雅人
顧問	豊島区副区長	高際 みゆき
顧問	豊島区教育長	金子 智雄
顧問	としまユネスコ協会 会長	平井 憲太郎
会長	南池袋一丁目町会 会長	渡邊 隆男
副会長	としま案内人雑司ヶ谷 会長	小池 陸子
副会長	大鳥神社 宮司	清水 雄介
副会長	池袋四面塔尊奉賛会 会長	服部 洋司
委員	南池袋二三四町会 会長	磯貝 徹二
委員	雑司が谷一丁目町会 会長	戸張 康健
委員	雑司が谷七福神の会	戸張 眞克
委員	雑司が谷二丁目町会 会長	高野 れい子
委員	雑司が谷三丁目町会 会長	松岡 和明
委員	東目白振興会 会長	新家 孝一
委員	鬼子母神西参道商店街 会長	川田 稔
委員	鬼子母神通り商店睦会 会長	建持 直樹
委員	南池袋東通り商店会 会長	森山 繁夫
委員	御会式連合会 会長	川井 誠
委員	御会式連合会 顧問	武田 英男

	役職等	氏名
委員	御会式連合会 相談役	堀口吉三郎
委員	すすきみみずく保存会 副会長	長島 秀臣
委員	すすきみみずく保存会 副会長	磯 一昭
委員	雑司が谷・南池袋まちづくりの会 会長	松岡 昭男
委員	緑のこみちの会 会長	村田 定夫
委員	鬼子母神大門 櫻並木保存会 会長	田中 伸
委員	本納寺 住職	森部 達彦
委員	日本女子大学家政学部住居学科教授	薬袋 奈美子
委員	日本女子大学家政学部住居学科准教授	片山 伸也
委員	都立雑司ヶ谷霊園 管理事務所長	小古井 武夫
委員	伝統の池袋 和服散歩の会 会長	平山 知子
委員	目白新聞発行委員会 代表	青木 滋
委員	南池袋小学校 校長	宮澤 晴彦
委員	南池袋小学校 PTA 会長	阿部 隆

# 雑司ヶ谷の案内サイン 検討会2020－報告書－



公益社団法人日本ユネスコ協会連盟  
プロジェクト未来遺産2014

「雑司が谷がやがや」プロジェクト  
～歴史と文化のまちづくり

雑司が谷未来遺産推進協議会は、「観光客が住宅地の生活道路に入ってきて困ることがある」という地域の声に着目し、これまでに雑司ヶ谷の“建築遺産”とそれらを繋ぐ“道”に焦点を当て、道の棲み分けについて検討を重ねてきました。

建築未来遺産の確認 (2016)	未来遺産をつなぐ道の確認 (2017)	観光客と地域住民とが共生できる道の確認と課題の検討 (2018)	案内ルート、現状の確認と案内板設置の提案 (2019)
シンポジウムの実施	シンポジウムの実施	シンポジウム、ワークショップの実施	シンポジウム、ワークショップの実施

2020年度は、その結果を踏まえ、雑司ヶ谷の案内サインのあり方の検討を進めました。

※ここでの案内サインは、主に案内地図サイン、誘導サインのことを指します。(豊島区案内サインガイドライン(令和元年度6月)より)

## 第1回検討会：3つのエリア別 2020年11月10日(火) 参加者48名

- 1) 主に明治通り西側エリア(西池袋、南池袋1丁目)
- 2) 主に都電西側エリア(雑司が谷2、3丁目、南池袋2、3丁目)
- 3) 主に都電東側エリア(雑司が谷1、2丁目、南池袋4丁目)

## 第2回検討会：地域全体 2020年12月8日(火) 参加者25名

対面型とオンライン型(Zoom)での実施



第1回検討会の様子

## ◆案内サインの現状◆

(日本女子大学 家政学部 住居学科 葉袋研究室による現地調査及び検討会意見より抜粋)



①公共の案内サイン

### 《雑司ヶ谷全体の道案内や案内サインについて》

- ・既存の公共(写真①②)民間(写真③④)の案内サインは、表記やデザインが統一されておらずわかりにくい。
- ・施設近くでないと公共の案内が設置されないことがある。
- ・公共の案内サインは、主に幹線道路に設置されている。
- ・東京メトロ雑司が谷駅/都電荒川線都電雑司ヶ谷停留場、鬼子母神前停留場/JR目白駅の各駅から訪問者(観光客含)への案内サインが不足している。



②雑司ヶ谷霊園までの案内

### 《雑司ヶ谷霊園までの案内(写真②)》

- ・線道路での設置が目立つ。

### 《雑司が谷旧宣教師館までの案内》

- ・施設近くには設置されている。

### 《自由学園明日館までの案内(写真③)》

- ・公共の案内サインは少なく、施設側が電柱広告等で案内。

### 《目白庭園までの案内》

- ・JR目白駅近辺のみに案内サインが設置されている。

### 《弦巻通りの案内(写真④)》

- ・通りの起点と終点に案内がなく、弦巻通りまでがわかりにくい。(通り内には商店会が設置)

### 《その他》

- ・災害時の避難場所、避難所等に関する案内が少ない。



③施設が設置した自由学園明日館までの電柱広告による案内



④弦巻通り商店会の案内(通り内)

## ◆ 検討会で出された主なご意見・ご提案①～⑧ ◆

<第1回>

### ① 歴史的で文化的建築物があり、かつ、住宅地である地域特性を活かしたサイン計画

→案内サインは駅前など必要最低限に抑えてほしい。  
→住宅地には誘導サインや代替するサイン計画等で工夫。

### ② 雑司ヶ谷地域全体を回遊しやすくなる案内、地域特性を活かした統一したデザイン

→目白周辺と現在の雑司ヶ谷エリアを迷わず回遊できるようなサイン計画。

### ③ 歴史的背景など正しい認識のもとに正式名称を記載

→例：ケヤキ並木⇒大門櫛並木

### ④ 設置スペースがない場合は、既存施設や設備の活用を検討するなどして工夫

→例：ベンチや壁にサインを貼る。道路に舗装やシールなどを貼る、掲示板上に誘導サインを設置など

### ⑤ すぐに設置ができない場合は、豊島区と連携をはかりながら地域で試行的にできることから取り組む

→例：道や壁にシール等を貼って検証など

### ⑥ 『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』をルートに

→案内ルートは、雑司ヶ谷の建築遺産や名所を繋ぐ『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』で良いが、新たな提案箇所も検討する。(3頁地図参照)

<第2回>

### ⑦ 『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』

→法明寺境内を通る墓地との間の道を新たに提案。法明寺の意思確認が必要。  
→池袋周辺で先行して検討している案内サインとの整合性を図る。(特に、南池袋公園隣の道(本立寺))

### ⑧ 豊島区、東京都と考え方を共有し連携をはかり、できることから取り組む。

→豊島区の案内サインガイドラインに基づいて設置。生活道路まで入り込まない案内サインの設置のあり方を検討する。  
→都市計画道路(環5の1)の動向も注視。



第2回検討会の様子

## ◆ 雑司ヶ谷の案内サインの提言(案) ◆

### 【案内ルートの考え方・方針】

#### 迷いこまない案内方法を検討する (ご意見②)

・雑司ヶ谷を訪れてくる人たちが地域住民のための住宅地、生活道路に迷いこまない案内のあり方を検討する。

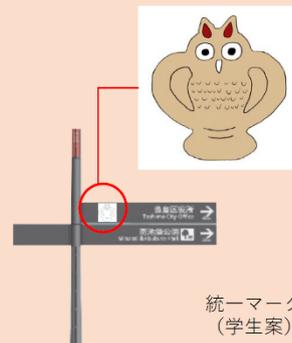
#### 『雑司ヶ谷の歴史をたどる道』を案内ルートの基本とする (ご意見⑥⑦)

### 【案内サインの考え方・方針】

#### 豊島区案内サインガイドラインを基本としながら地域特性を活かした雑司ヶ谷らしい案内サインの設置 (ご意見①②⑦⑧)

- ・木造密集市街地でスペースに限りがあるため、案内地図サインは駅前など主要箇所に。誘導サインは施設に近い住宅地内に設置するなど、適材適所のサイン計画とする。
- ・雑司ヶ谷は鬼子母神周辺、大門櫛並木、雑司ヶ谷霊園周辺、弦巻通り、目白周辺などエリアごとに表情がさまざまなので、区のガイドラインを基本に統一のとれたデザインにしながら、エリアごとに“雑司ヶ谷らしさ”を出したデザインにする。
- ・誰もわかるユニバーサルデザインの案内とする。(例：ピクトグラム、イラスト、ロゴマークの活用など)

※「雑司ヶ谷」は、住居表示上の「雑司ヶ谷」と呼ばれていた現在の南池袋や西池袋の一部も含まれます。



統一マーク  
(学生案)

□ 正式な名称を記載する（ご意見③）

・ 言いやすさや新しさを簡単に名称を変えたりせず、雑司ヶ谷の歴史的背景を踏まえた正確な名称を案内サインには記載する。

□ 設置スペースがない場合は、別の案内をする方法を検討する（ご意見④⑤）

・ 案内サインが設置可能なスペースに限りがあるため、設置が難しい場合は別の案内のあり方を検討する。  
 (例：ベンチや壁にサイン。道路舗装、色彩、シールなどで工夫、掲示板上に誘導サインを設置など)

□ 既存の案内サインを整理した上で、設置する案内サインにする（ご意見①⑦）

・ 既存の案内サインを整理した上で、新規に設置する案内サインは本当に必要な箇所に設置する。



壁にシール（学生案）

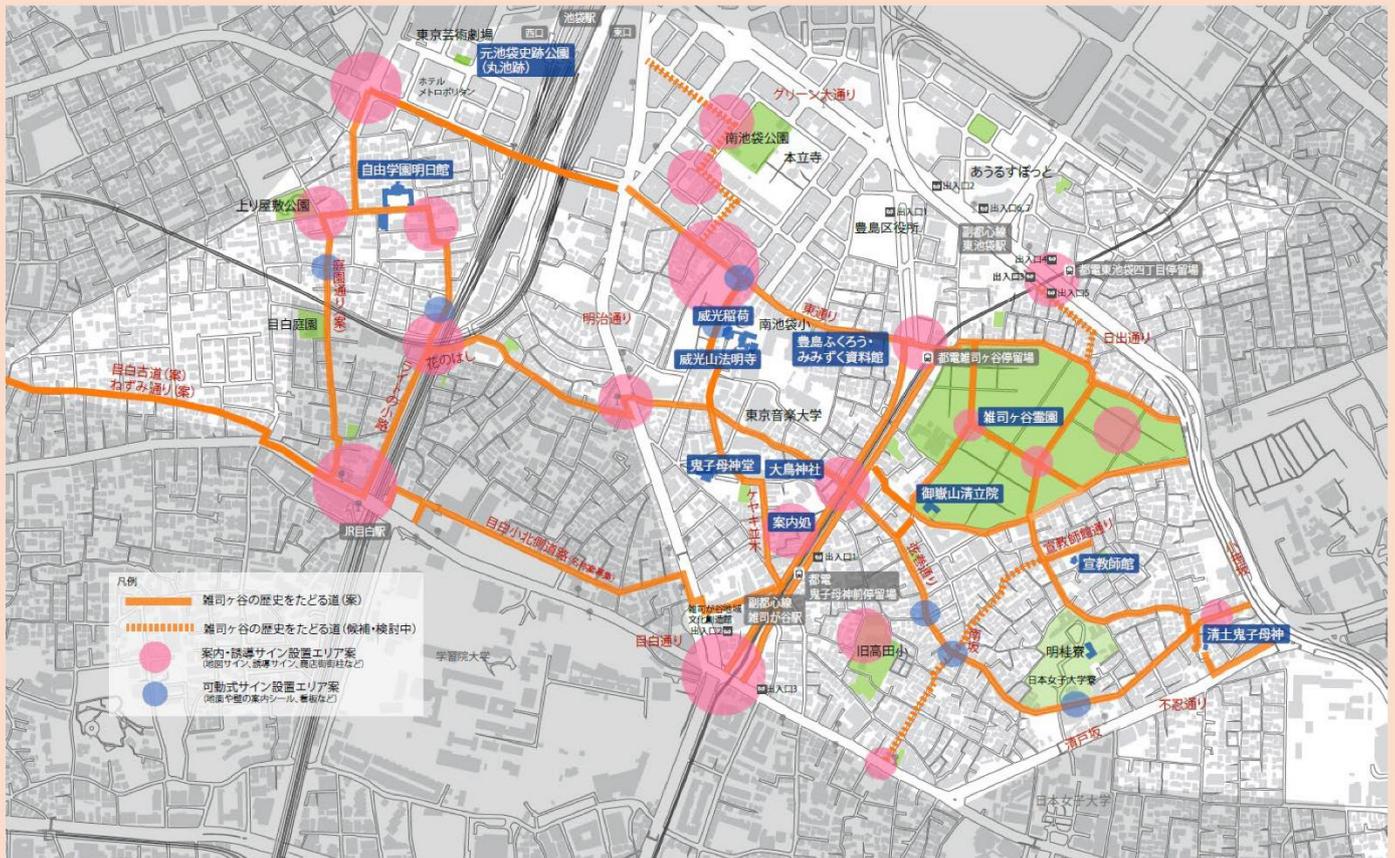


地面にシール（学生案）

◆ 雑司ヶ谷の歴史をたどる道、および案内サイン設置箇所候補（案） ◆

<案内サイン設置の基本的考え方>

- ☆各駅出入口は設置可能であれば、案内サイン（案内地図サイン、もしくは誘導サイン）を設置する。
- ☆幹線通りから地域内の小道に入る箇所で案内をするべき施設につながる箇所には、誘導サインを設置する。
- ☆地域内で迷いやすいところは誘導サインで方向を示す。



※ワークショップ、検討会等を踏まえての候補地（案）です。今後、実際に設置するスペースがあるかなどは検証し、必要最小限の案内サインを設置予定です。

## ◆今後の進め方等◆

- 豊島区、東京都、関係団体と適宜情報共有をはかり、既存計画含め連携して進めていく。
- 案内サイン（案内地図サイン、誘導サイン）の候補地の設置の実現性を検証する。
- 雑司ヶ谷地域全体で地域住民や住民組織と協力しながら、できる箇所から試行的な取り組み等を実施していく。
- 「雑司ヶ谷の歴史をたどる道」はサイン設置後も実情に合わせて、随時見直す。
- 豊島区や雑司ヶ谷の関連ウェブサイトや連携雑司ヶ谷未来遺産推進協議会のウェブサイトと連携をしていく。

## ◆今後のスケジュール（予定）◆

※2021年6月末時点での予定です。  
状況によりスケジュールが変更になる場合があります。

～2021年7月

- 『雑司ヶ谷の案内サインの提言(案)』を雑司が谷未来遺産推進協議会ホームページ等で公開し、提言(案)に関する意見を募集
- いただいた意見を踏まえて提言としてまとめる。
- 提言を豊島区（及びその他関係主体）へ提出。  
※地域からの意見を踏まえ、雑司が谷未来遺産推進協議会が主体となって提出します。

8月～12月

- 案内サイン候補地の設置スペースの検証、関係部署と調整。
- 検証を踏まえ、案内サインが設置可能な箇所については、エリアごとに合意形成をはかりながらデザインワークショップ等を実施。  
・地域で試行的に社会実験等を実施する。（例：道や壁にシール等を貼って検証など）

2022年度以降

- 可能なエリアから案内サインを設置。

## 「案内サインの提言（案）」について ご意見をお寄せください！

皆さまからのご意見を踏まえて提言としてとりまとめ、  
雑司が谷未来遺産推進協議会から豊島区へ提出いたします。

〈提言内容についてのご意見・お問合せ〉

E-mail: [zoshigaya.sign@gmail.com](mailto:zoshigaya.sign@gmail.com) FAX: 03-5875-1673（担当：小口）

〈雑司が谷未来遺産推進協議会についてのお問合せ〉

雑司が谷未来遺産推進協議会事務局（公益財団法人 としま未来文化財団内）

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-20-10 としま区民センター4階 / TEL: 03-3981-4732

※雑司が谷未来遺産推進協議会とは

平成26年に日本ユネスコ協会連盟から『雑司が谷がやがやプロジェクト（－子供たちが100年後の未来にも誇りを持ってここ雑司ヶ谷に暮らせるよう、そこで暮らす人たちが力を合わせて古き良き伝統を継承し、自然と時代の変化を調和させながら、地域の文化・自然遺産を伝えてく活動－）』が選ばれ、雑司ヶ谷の皆さんの地域活動やまちづくり活動が高く評価されました。活動継続のため、平成27年に雑司が谷未来遺産推進協議会が設立されました。

作成：雑司が谷未来遺産推進協議会 編集協力：日本女子大学 家政学部 住居学科 薬袋研究室